

ゲームの仮想世界にはない

痛み感じて



「教育プロレス」でレスラーの場外乱闘に驚く児童ら＝熊本市の城南小

八代市のプロレス団体「**求道軍**」が6日、熊本市南高江の城南小で、「ゲームの仮想世界にはない、痛みや感動を伝えたい」と「教育プロレス」を披露した。

熊本市・城南小

同団体の幸村ケンシロウ代表(45)らは、5月にNPO法人を設立するなどして教育目的のプロレス活動を展開。城南小PTA(内田政親会長)が同法人に依頼した。

同団体のレスラー4人が、ロープやコーナーを使ったダイナミックな技を披露。観戦した児童ら200人以上が歓声を上げていた。初めてプロレスを観戦したという3年の大久保駿君は、「最初は怖くて見ていられなかったけど、迫力があつた」。

(岩崎健示)

八代市の「求道軍」 「教育プロレス」披露

県内の大学・高専の外国人留学生を対象にした熊本城の観光ボランティアガイド養成講座が5日、熊本市の市国際交流会館で始まった。留学生たちに熊本をさらに深く知ってもらい、観光にも一役買ってもらおうと、熊本留学生交流推進会議(議長・谷口功熊本大学長)が初めて企画した。

中国、韓国、マダガスカル出身などの22人が受講。初日は、熊本観光ボランティアガイドの可児研二さん(68)が熊本城の歴史や、「武者返し」と呼ばれる

熊本城案内に役立てて!

留学生対象 観光ガイド養成講座始まる

独特の曲線美で知られる石垣の構造などについて説明、留学生らは熱心にメモを取っていた。講座は12月まで8回あり、前半4回は座学、後半4回は実地

「水と緑と蛍の音楽会」で歌や体操を披露する暁幼稚園の園児ら＝熊本市の三賢堂

